

連絡先: narrative@dcnz.net
申込先: <https://goo.gl/T5qP9L>

日本の蒸し暑さと忙しさを離れ、
涼しく、ゆったりとしたニュージーランドで、
これからの教育について
じっくり考えてみませんか？

学校管理職・行政職
教員・養護教諭
スクールカウンセラー
スクールソーシャルワーカー
大学教員・研究者

すべての学校関係者のための海外教育研修 (ニュージーランド)

「教育における主体性と対話性、 そして支援を考える」



「主体的・対話的で深い学び」は提供されるのか？

「アクティヴ・ラーニング」を実現するために必要なものとは？

子どもを支援するとはどういうことか？

修復的対話の実際はどのようなものか？

NZの常識から見えてくる日本の学校の姿とは？

2019年8月

8月5日 (月) ~ 9日 (金) の5日間のワークショップ
ニュージーランド北島・ハミルトン市
実際の授業日に学校を見学
英語専門家による通訳付き
ナラティブ・セラピストのファシリテーションで
対話を通じての深い学びを自ら実感する

子どもたちに歓迎されてマオリ文化に触れる





「私が勧めたいのは、異なった社会の異なった慣習の輸入ではなく、異なった社会の光に照らして、私たち自身の社会で生まれつつある慣習について考えるということです」
「レヴィ=ストロース講義」2005年 136頁

本ワークショップについて

日本からほぼ真南に島国ニュージーランドがあります。その人口は460万人ほどです。国土は、日本の面積のおよそ7割。そのため日本に比べると人口密度がたいへん小さな国です。ニュージーランドは、多文化・他民族国家ですが、先住民のマオリの復権を中心に据えて、教育に取り組んでいます。

英国系金融機関HSBCの調査では「住みやすい国」ランキングで総合2位に入りました。また、3年毎に行われるによるOECD生徒の学習到達度調査(PISA)では、初回の調査で、数学的リテラシー3位、読解力3位、科学的リテラシー6位でした。最も最近に行われた2015年の調査では、順位を落とし、数学的リテラシー21位、読解力11位、科学的リテラシー10位となっています。しかし、ニュージーランドでは、この調査による成績向上を目指した教育をしているわけではありません。

ニュージーランドの義務教育は5歳の誕生日から16歳前までの10年間となっています。学校の形態は小学校、中学校、高校の他に、小中一貫校、中高一貫校、小中高一貫校とさまざまです。基本的に小・中・高校入学のための入学試験はなく、生徒たちは学区で定められた最寄りの学校へ通うことができます。

ほとんどの学校が一学年4学期制を採用して

おり、1学期は1月下旬に始まり12月中旬に4学期が終了します。1学期は10週間で、学期と学期の間には約2週間のスクールホリデーがあります。学年の終わりには、クリスマスとニューイヤーを挟んだ約1ヶ月の長期休暇があります。

本ワークショップでは、実際に学校を訪問したり、学校で子どもの支援に就いている人たちに話を聞くことによって、ニュージーランドの教育を肌で感じてもらいます。そして、そのことについて対話をしながら、それぞれの理解を深めていきます。

参考図書

「いじめ・暴力に向き合う学校づくり」

ジョン・ウィンズレイド&マイケル ウィリアムズ(著)

綾城初穂(訳) 新曜社 2016年





宿泊手配について

ワークショップを行うハミルトン市は、オークランドから南に150Kmほどにある都市です。ワークショップ会場のYWCA Hamiltonは、ハミルトン市の中心街にあります。

今まではDCNZが宿泊料金を参加者に請求して、宿泊場所の手配をおこないましたが、いろいろと調査した結果、ホテル予約サイトからご自身で予約した方が安くなることが分かりました。そこで、ホテルの手配につきましては、ワークショップ会場に近いホテルの一覧を予約申し込みサイトに挙げますので、ご希望のホテルをホテル予約サイト(ブッキングドットコム、ホテルズドットコム、エクスペディア、じゃらんnetなど)からご自身で予約していただくようお願いいたします。

なお、何かホテルと調整しなければならないことが生じましたら、通訳などで対応しますので、ご安心ください。

また、ツインルームを希望される方は、申し込みフォームにその旨をご記入ください。他の参加者と調整を図り、こちらで予約いたします。その際には、現地で宿泊料金を支払っていただくこととなります。ツインルームは、基本的には、シングルのコストと同一ですので、二人で泊まれば半額となります。

プログラム(予定)

8月4日(日)

夕方 チェックイン&オリエンテーション(日本語)

8月5日(月)

AM イントロダクション&ランチ(日本語)

PM 講義「ニュージーランドでの学校の取り組み」

8月6日(火)

AM ハミルトン市内学校見学

ワイカト大学でランチ

PM 「振り返り(リフレクション)」(日本語)

8月7日(水)

(学校見学と講義を予定。詳細は調整中)

8月8日(木)

AM 講義「カウンセラーが考える子どもの支え方」

PM 「振り返り(リフレクション)」(日本語)

8月9日(金)

AM 「NZメガネをかけて見る日本の学校」
(ディスカッション)

PM 「今後に向けて—自分の目指す方向性と
そのコミュニティ」(日本語)

8月10日(土)

(オプションツアー) ロトルア観光を予定

8月11日(日) ニュージーランド発

通訳およびファシリテーター

【通訳: バーナード紫】

東京都渋谷区生まれ。ロンドン大学教育研究所修士課程修了(英語教育)。ワイカト大学教育学部教育研究科ディプロマ修了(カウンセリング)。現在、ニュージーランド在住 翻訳家、コミュニティ通訳士。

【ファシリテーター: 国重浩一】

東京都墨田区生まれ。ワイカト大学カウンセリング大学院修了。鹿児島県スクールカウンセラー、東日本大震災時の宮城県緊急派遣カウンセラーなどを経て、現在、日本臨床心理士、ニュージーランド・カウンセリング協会員、ダイバーシティ・カウンセリング・ニュージーランド スーパーバイザー&カウンセラー。



参加しての感想



小学校教員からの声

「私は小学校の教員なのでイースト小学校の見学は本当に楽しいものでした。学びも多かったですし、ただ見るだけでなく、解説していただいたり、別室で校長先生からお話をたくさん聞いたことも勉強になりました。教室の掲示の様子や実際に個に応じた学習形態で活動しているところを実際に観ることができたこと、そして振り返りでも申し上げましたが、全く違った小学校生活を送る日本とニュージーランドの子どもたちが、思春期になり同じように苦悩することは本当に興味深く、両方の実態をもっと詳しく知りたいと思いました」

大学教員からの声

「そこで生活する人々の様子に直接触れることはとても意味があったと思います。個々の取り組みがどのような文化的背景のなかで成立しているのかということ、実体験を通じて少しでも感じ取ることができました」

大学教員からの声

「ちょっとした自己紹介はしたものの、参加者間でのコミュニティ作りセッションなどはほとんどされなかったに

もかかわらず、気付くと何とも言えない平和な関係性がメンバーの間に築かれていたのも、個人的にはとても良かった点です。無理やりコミュニティに入れこまれる感じがなく、気付けばコミュニティ化していたのは、私を含めてメンバーの皆さんが、講師や現場の生の声に触れていく間に、出会った人々の平和な関係性に感化されていた(知らずに学んでいた)からではないかと思います」

カウンセラーからの声

「正式な歓迎の儀式を受けさせていただくことに深い感謝と感動を覚えました。高校生たちの振る舞いには誇りや喜びのようなものが感じられ、もっともっと歌やダンス(と称してよいのでしょうか)を観ていたいと感じました」

保護者支援者からの声

「記憶に残るのは、小学校での子どもたちが、外から来た人に対して笑顔で迎えてくれる接し方です。多様な人々からなる文化の背景の中にあっても、子どもたちがお互いの違いに違和感を持つのではなく、同じ人間として育ち合う姿には教育の方向性の良さを感じました」

ワークショップの基本情報

場所: ニュージーランド北島、ハミルトン市
日時: 2018年8月5日(月)夕方~9日(金) (5日間)
定員: 14名程度(最小催行人数8名)
費用: 2300ニュージーランドドル
ワークショップ参加費
なお、渡航費用、食費、宿泊費は含まれません。
対象: 教職や、子どもとその家族を支援する職
(SC, SSWなど)についている方など
主催: ダイバーシティ・カウンセリング・ニュージーランド
協力: ナラティブ実践協働研究センター

問い合わせ

国重浩一、バーナード紫
narrative@dcnz.net 日本語可: ニュージーランドに在住していますので、メールでの問い合わせとなります。なお、希望者にはスカイプで話すことも可能です。

参加申し込み要領

以下のサイトからお申込みください。
<https://goo.gl/T5qP9L>
なお、5月末日までに最小催行人数が集まらなかった場合、ワークショップは中止と致します。ワークショップ代金の支払い方法は、実施が決まった時点でお知らせしますので、その後すみやかに入金をお願いします。このサイトにおいて、申込状況およびワークショップ実施の決定などを適宜更新していきますので、確認のためご覧ください。

キャンセルポリシー

ご入金後~当日の3週間前まで: 参加費の50%を返金いたします。
当日の3週間前~当日まで: 申し訳ありませんが、返金いたしかねます。



本ワークショップを企画している「ダイバーシティ・カウンセリング・ニュージーランド(DCNZ)」は、NZで正式に登録されているチャリタブルトラスト(非営利団体)です。ファシリテータを努めます国重浩一が本組織に所属しています。本ワークショップで得られた収益は、難民・移民に対する支援サービス(カウンセリングなど)の活動資金として活用させていただきます。